



Mercedes-Benz

メルセデス・ベンツ GLクラス特別仕様車

Press Information

2011年10月20日

グランド エディション

GL 550 4MATIC Grand Editionを発売

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ニコラス・スピークス、本社:東京都港区)は、7人乗りの広く快適な室内空間と、5.5リッターV型8気筒エンジンによるゆとりある走行性能、フルタイム4WD機構による高い走破性を兼ね備えた、フルサイズ・ラグジュアリーSUV、メルセデス・ベンツ GLクラスに特別装備を施し、上質感を一層引き立てた特別仕様車「GL550 4MATIC Grand Edition」を、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店を通じ発売いたします。

本特別仕様車は、GLクラスの魅力をさらに引き出す数々のインテリア、エクステリア仕様・装備を標準装備しています。

外装は、フロントマスクをより精悍に見せるダークデザインのバイキセノンヘッドライトやクローム付ハイグロスブラックフロントグリル、足元をいっそう引き締める専用デザインの20インチ10スポークアルミホイール(ヒマラヤグレーペイント)を採用。また、SUVモデルならではのクロームアンダーガード(フロント、リア)も装備し、強靱で力強い印象を与えています。

内装は、シートには最高級のナッパレザーを使用し、ブラックにポーセレン(乳白色)もしくはマロン(茶色)のいずれかを組み合わせた2トーンカラーを設定しています。また、ダッシュボードをはじめドアセンターパネルやアームレストにはレザーをふんだんに使用するとともに、マットブラックアッシュウッドインテリアトリムを採用し上質な雰囲気を演出しています。

GL 550 4MATICが備えるフルタイム4WD機構「4MATIC」は、通常の路面からオフロードまで、滑りやすい路面での走行時や危険回避時に4輪それぞれのブレーキやエンジン出力を制御し、走行安定性を高める4ESP(エレクトロニック・スタビリティ・プログラム)を装備しています。さらに、悪路での走行性能をさらに高める装備として、ブレーキやエンジン出力の制御をオフロード専用で切替えるオフロードスイッチや、急な下り勾配でトランスミッションとブレーキを自動的にコントロールし車速を一定に保つDSR(ダウンヒル・スピード・レギュレーション)、自動/手動でセンターとリアがロック可能な電子制御ディファレンシャルギアやローレンジモードセレクター、マニュアルモードセレクターを標準装備しています。

【エクステリア】

- 専用フロントグリル(クローム付ハイグロスブラック)
- 専用ダークデザインヘッドライト
- 専用フロントバンパー
- 専用クロームアンダーガード(フロント、リア)
- 専用20インチ10スポークアルミホイール(ヒマラヤグレーペイント)
- 専用ツインクロームエグゾーストエンド
- Grand Editionサイドエンブレム

【インテリア】

- 専用ナッパレザーシート(ツートンカラー、コントラストステッチ付)
- 専用レザーインテリア(コントラストステッチ付)
 - (ダッシュボード、ドア内張り、アームレスト及び前席センターコンソールのアシストグリップ部分が革張り)
- 専用マットブラックアッシュウッドインテリアトリム
- *designo*ブラックファブリックルーフライナー
- ステンレスアクセル&ブレーキペダル(ラバースタッド付)
- “Grand Edition”ロゴ付フロアマット
- “Grand Edition”インテリアエンブレム

【外装色】

- 「パールベージュ」および「シトリンブラウン」を追加

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステア リング	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
GL 550 4MATIC Grand Edition	左	¥13,800,000 (¥13,142,858)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、GL 550 4MATIC Grand Editionにも、メルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。また、メルセデス・ケアの一般保証および24時間ツーリングサポートを有償にて最大2年間延長するプログラム「My Mercedes サポート」もご用意しております。

カール・ベンツが独自に開発した 3 輪自動車の特許を申請したのは、1886 年 1 月 29 日。それ以降、この日は自動車が正式に誕生した日とされ、2011 年に 125 周年を迎えます。カール・ベンツが自動車を発明した同じ時期に、ゴットリーブ・ダイムラーは世界初の 4 輪自動車を開発していました。現在のダイムラー社とその中核ブランドであり世界的な成功を収めているメルセデス・ベンツの創始者である 2 人は独自に開発を進めながら、今日のすべての乗用車、商用車、バスの土台を築き上げたのです。自動車を発明したメルセデス・ベンツはこれ以来、駆動技術から快適性や安全性、そしてデザインに至るすべての分野において、他のいかなる自動車メーカーよりも多様に、かつ長い期間にわたり自動車の開発を続けてきました。

カール・ベンツは「The love of inventing never dies（発明への情熱は決して消えることはない）」という言葉を残しました。そして、ゴットリーブ・ダイムラーは、「The best or nothing（最善か、無か）」という有名な言葉を残しています。メルセデス・ベンツはこの基本理念に 125 年間忠実に行動してきました。“The spirit of innovation（革新の精神）”は、個人のモビリティを将来の世代にも保証し、それぞれのお客様のニーズに合った最適なクルマをお届けするという目標とともに、メルセデスの企業文化に深く根付いています。この革新はメルセデス・ベンツの系統化された研究活動を基盤としており、1970 年代初めには独立した研究部門を正式に設立しました。現在、メルセデス・ベンツには 1 万 9,000 人もの研究者と開発者からなるグローバルな知識共有ネットワークがあります。この開拓者精神、専門知識、意欲にあふれ、幅広い分野をカバーするシンクタンクを使い、メルセデス・ベンツは世界で最も優れた自動車を将来にわたりお届けしていきます。